

「臨床婦人科産科」第 71 巻 総目次

2017 年（第 1 号～第 12 号）

数字は通巻頁数、（ ）は号数

今月の臨床

●性ステロイドホルモン研究の最前線と臨床応用 (1)

〈基礎〉

ニューロステロイドの合成と機能

山崎 岳・石原 康宏…………… 6

性ステロイドホルモンの光学異性体とその生理機能

岡本真由美……………12

エストロゲン標的組織の病態発症に関与する分子制御機構

平池 修……………21

ゲノムワイド解析から眺めた性ステロイドホルモン受容体の新たな機能

今井 祐記……………30

〈臨床総論：製剤の種類と特徴〉

エストロゲン製剤

安井 敏之……………36

プロゲステロン製剤

北脇 城……………45

アンドロゲン製剤

七尾 道子・秋下 雅弘……………53

〈臨床各論：使い方の実際〉

思春期の月経異常

檜原 久司・溝口 千春・河野 康志……………61

月経随伴症状

高橋 俊文……………67

避妊

澤田健二郎・木村 正……………74

切迫流早産

中井 章人……………83

早発閉経

五十嵐 豪・鈴木 直……………90

中高年のヘルスケア

篠原 康……………94

子宮内膜異型増殖症

牛嶋 公生……………101

FLUTS

樋口 毅……………104

外傷性脳損傷とプロゲステロン

井上 雅人・原 徹男……………110

〈選択的性ステロイドホルモン受容体修飾薬〉

選択的エストロゲン受容体修飾薬 (SERM)

竹内 靖博……………115

選択的プロゲステロン受容体修飾薬 (SPRM)

近藤 英治・小西 郁生……………121

選択的アンドロゲン受容体修飾薬 (SARM)

柳瀬 敏彦……………127

tissue selective estrogen complex (TSEC)

大石 元・矢野 哲……………133

〈性ステロイドホルモンの副作用の疫学〉

血栓症・脳卒中

小林 隆夫・杉浦 和子……………140

子宮内膜癌・乳がん

高松 潔・杉山 重里・小川真里子……………148

●産科麻酔パーフェクトガイド (2)

〈無痛分娩〉

知っておきたい無痛分娩の基本

照井 克生……………184

無痛分娩の麻酔開始時期と麻酔法の選択①

安全性と快適性を意図する麻酔

中畑 克俊・角 千里・玉井 幹……………190

無痛分娩の麻酔開始時期と麻酔法の選択②

産科学と麻酔科学が合体するとき

林 雅子……………196

器械分娩の麻酔

大瀧 千代……………202

心疾患合併妊娠における無痛分娩

堀内 縁・吉松 淳……………206

〈帝王切開手術の麻酔〉

帝王切開時の区域麻酔の手技と留意点

松田 祐典……………213

帝王切開時の全身麻酔の手技と留意点

萩平 哲……………222

超緊急帝王切開時の麻酔

野口 翔平・入駒 慎吾……………228

帝王切開の術後鎮痛①

オピオイドの脊髄クモ膜下投与

高橋 英督……………235

帝王切開の術後鎮痛②

IV-PCA

井上 莊一郎	241	田中 宏和	13
死戦期帝王切開に備えよう！		症例：妊娠初期③	
角倉 弘行	247	双胎膜性診断のポイントとは？	
胎児手術における麻酔		村越 毅	17
大橋 夕樹	253	症例：妊娠初期④	
一次診療施設での流産手術の麻酔における留意点		妊娠初期に診断可能な胎児形態異常とは？	
平松 恵三	260	仲神 宏子	23
●婦人科がん低侵襲治療の現状と展望〈特別付録web 動画〉(3)		症例：妊娠初期⑤	
〈子宮頸がん〉		Nuchal translucency の計測方法は？	
準広汎子宮全摘術の可能性—腫瘍径 2 cm 以下の子宮 頸癌 IB1 期に対する準広汎子宮全摘術の非ランダム 化検証的試験 JCOG1101		中村 靖・藤田 聡子・宋 美玄	27
笠松 高弘	292	症例：妊娠中期①	
センチネルリンパ節生検		脳室拡大を疑う所見とは？	
矢幡 秀昭・園田 顕三・加藤 聖子	297	松岡 隆	33
腹腔鏡下広汎子宮全摘術		症例：妊娠中期②	
小林 栄仁・木村 正	302	後頭蓋窩の異常を検出するためには？	
ロボット支援下手術		市塚 清健	39
井坂 恵一	312	症例：妊娠中期③	
〈子宮体がん〉		顔面奇形を疑う所見とその鑑別疾患は？	
傍大動脈リンパ節郭清の意義と省略の可能性		秋葉 洋平・宮越 敬・田中 守	47
藤堂 幸治	322	症例：妊娠中期④	
センチネルリンパ節生検		心臓の位置異常の所見と鑑別診断のポイントは？	
新倉 仁・八重樫伸生	328	川瀧 元良	53
腹腔鏡下手術		症例：妊娠中期⑤	
寺井 義人・田中 智人・古形 祐平		心臓の四腔断面の異常を診断するポイントは？	
芦原 敬允・藤原 聡枝・田中 良道		石井陽一郎・丸山 裕子	57
佐々木 浩・恒遠 啓示・大道 正英	336	症例：妊娠中期⑥	
ロボット支援下手術		心臓の大血管流出路の異常を診断するポイントは？	
横山 良仁	344	前野 泰樹	65
〈卵巣がん，外陰がん，再発悪性腫瘍〉		症例：妊娠中期⑦	
卵巣がんに対する腹腔鏡下手術		心臓の肺静脈還流の異常を診断するポイントは？	
山下 剛・西澤 庸子・馬場 敦志		河津由紀子	69
浅野 拓也	350	症例：妊娠中期⑧	
外陰がんに対する縮小手術		胸腔内の異常像を認めたときの鑑別診断のチェックポ イントは？	
有吉 和也・齋藤 俊章	357	和田 誠司・杉林 里佳・小澤 克典	
再発婦人科がんに対する腹腔鏡手術		左合 治彦	73
金尾 祐之・竹島 信宏	364	症例：妊娠中期⑨	
●産婦人科画像診断トレーニング—この所見をどう読 むか？(4)		胎児腹腔内異常像の鑑別ポイントは？	
〈周産期〉		谷垣 伸治・中村紀友喜・芝田 恵	
症例：妊娠初期①		高橋 由佳・串本 卓哉・松井 仁志	
胞状奇胎の画像診断のポイントは？		左合 治彦	79
吉田 幸洋	7	症例：妊娠中期⑩	
症例：妊娠初期②		腹壁異常を認めたときの鑑別診断のポイントは？	
異所性妊娠の典型像と診断のポイントは？		羽場 巖	85
		症例：妊娠中期⑪	
		腹腔内嚢胞を認めたときの鑑別診断のポイントは？	
		田丸 俊輔	89

症例：妊娠中期⑫	
嚢胞性腎疾患の超音波所見と診断のポイントは？	
永岡 晋一・室月 淳……………	95
症例：妊娠中期⑬	
脊椎骨の異常を疑う所見とは？	
杉林 里佳……………	99
症例：妊娠中期⑭	
MD 双胎での血流異常の診断方法は？	
鷹野真由実・上山 怜・中田 雅彦……………	105
症例：妊娠中期⑮	
四肢骨格の異常を診断するポイントは？	
篠塚 憲男……………	111
症例：妊娠中期⑯	
子宮頸管長の測定のコツは？	
大槻 克文……………	117
症例：胎児血流計測①	
臍帯動脈・臍帯静脈・中大脳動脈の血流計測のポイントは？	
金川 武司……………	125
症例：胎児血流計測②	
静脈管の血流計測のポイントは？	
橋 大介・横井 夏子……………	131
症例：胎児血流計測③	
下大静脈の血流計測のポイントは？	
高橋雄一郎……………	135
症例：胎児血流計測④	
Tei Index による胎児心機能評価のポイントは？	
小澤 克典……………	141
症例：胎児血流計測⑤	
妊娠 16 ～ 23 週（妊娠中期）での子宮動脈の血流速度波形の異常所見は？	
大口 昭英……………	147
症例：胎児血流計測⑥	
胎児不整脈を認めたら？	
三好 剛一……………	151
症例：胎児付属物①	
前置胎盤の正確な診断方法は？	
仲村 将光……………	155
症例：胎児付属物②	
癒着胎盤の超音波画像の特徴は？	
小畑聡一朗・青木 茂……………	159
症例：胎児付属物③	
前置癒着胎盤の MRI 画像の特徴は？	
青木 宏明・北井 里実……………	163
症例：胎児付属物④	
胎盤肥厚に対する超音波診断の特徴は？	
大浦 訓章……………	169
症例：胎児付属物⑤	
臍帯捻転異常の診断方法は？	
新垣 達也・仲村 将光・関沢 明彦……………	175
症例：胎児付属物⑥	
臍帯付着部異常の画像診断のポイントは？	
長谷川潤一・阿部 佳織・鈴木 直……………	179
症例：胎児付属物⑦	
羊水量の異常の診断方法と背景疾患は？	
小松 篤史……………	185
〈生殖・婦人科疾患〉	
症例：不妊診療①	
不妊外来での卵胞発育の診断とその注意点は？	
原田 竜也……………	193
症例：不妊診療②	
多嚢胞性卵巣症候群の画像診断とその臨床的意義は？	
岩佐 武・松崎 利也・矢野 清人 苛原 稔……………	199
症例：不妊診療③	
良性子宮内腔病変の画像診断とその妊孕性への影響は？	
升田 博隆……………	203
症例：不妊診療④	
不妊に伴う卵管病変の画像診断とその注意点は？	
平田貴美子・木村 文則・村上 節……………	209
症例：不妊診療⑤	
体外受精施行中に必要な画像診断とは？	
吉田 淳……………	213
症例：不妊診療⑥	
卵巣過剰刺激症候群の画像診断と重症度判定の基準は？	
千石 一雄……………	217
症例：婦人科疾患①	
子宮奇形の画像診断と妊孕性への影響は？	
竹下 俊行……………	223
症例：婦人科疾患②	
良性卵巣腫瘍の画像診断と鑑別疾患は？	
吉田 梨恵・井坂 恵一……………	229
症例：婦人科疾患③	
子宮筋腫・子宮腺筋症の画像診断とその注意点は？	
廣田 泰・大須賀 穰……………	233
症例：婦人科疾患④	
骨盤内感染症の画像診断のポイントは？	
福永 健・藤井 進也・上垣 崇……………	239
症例：婦人科疾患⑤	
尿路系の画像診断のポイントは？	
田島 祐……………	245
症例：婦人科疾患⑥	
婦人科的急性腹症の画像診断のポイントは？	

竹内麻由美・松崎 健司・原田 雅史……………	249
症例：女性医療①	
思春期前女性の骨盤内臓器の正常画像と典型的な異常所見は？	
宮崎 治……………	255
症例：女性医療②	
骨量計測とその評価の方法は？	
尾林 聡……………	261
症例：女性医療③	
性器脱・尿失禁に伴う画像診断のポイントは？	
西林 学……………	267
〈悪性腫瘍〉	
症例：子宮頸がん①	
CIN3～MICのコルポスコピー診の特徴は？	
田中 良道・大道 正英……………	273
症例：子宮頸がん②	
MRIによるparametrium浸潤の診断のポイントは？	
藤原 聡枝・山本 和宏・大道 正英……………	277
症例：子宮頸がん③	
FDG-PET/CTによる転移診断の留意点は？	
田中 智人・大道 正英……………	281
症例：子宮体がん①	
MRIによる筋層浸潤診断のポイントは？	
坪山 尚寛・富山 憲幸……………	285
症例：子宮体がん②	
子宮体がんⅡ期と子宮頸部腺癌の鑑別のポイントは？	
松川 淳・太田 剛・永瀬 智……………	289
症例：子宮体がん③	
FDG-PET/CTによる転移診断の注意点は？	
進 伸幸・片岡 史夫・山上 亘	
中原 理紀・青木 大輔……………	293
症例：卵巣がん①	
チョコレート嚢胞のがん化の画像診断のポイントは？	
棚瀬 康仁……………	299
症例：卵巣がん②	
境界悪性腫瘍の画像診断のポイントは？	
山本 和宏……………	305
症例：卵巣がん③	
転移性卵巣がんの診断のポイントは？	
村上 幸祐・鈴木 彩子・万代 昌紀……………	313
症例：子宮肉腫	
筋腫と肉腫との画像検査による鑑別診断のポイントは？	
吉野久美子・小山 貴……………	317
症例：乳がんのスクリーニング	
乳がんのスクリーニングのポイントは？—D/W（縦横比）が大きく境界明瞭な充実性腫瘤の鑑別	
渡邊 隆紀……………	321

〈コラム〉	
母体血清マーカー検査の歴史	
小西 晶子・佐村 修……………	11
絨毛染色体検査におけるconfined placental mosaicism (CPM)について	
三浦 清徳・増崎 英明……………	45
経陰超音波検査による分娩管理	
坂巻 健・小林 浩一……………	52
出生前診断としてのDNAマイクロアレイ	
亀井 良政……………	78
子宮頸部エラストグラフィ	
小松 篤史……………	123
妊娠初期コンバインド検査	
西山 深雪……………	139
遺伝性乳がん卵巣がん症候群の遺伝学的検査について	
三宅 秀彦……………	197
母体腹壁誘導胎児心電図	
佐藤 尚明……………	207
新しい超音波検査技術、bi-planeについて	
前野 泰樹……………	221
HDlive silhouette mode	
秦 利之……………	243
卵胞の3D計測	
片桐由起子……………	260
婦人科腫瘍におけるセンチネルリンパ節生検の可能性	
寺井 義人・田中 智人・大道 正英……………	311
●万能幹細胞・幹細胞とゲノム編集—再生医療の進歩が医療を変える(5)	
〈ES細胞・iPS細胞研究の現在〉	
ES/iPS細胞研究・臨床応用技術開発の現状	
阿久津英憲・土田奈々枝……………	400
〈ES細胞・iPS細胞の臨床応用〉	
脊髄損傷の治療	
大久保寿樹・中村 雅也・岡野 栄之……………	407
重症虚血性心筋症に対する細胞シート治療	
澤 芳樹……………	417
ゲノム編集によるAIDS・血液疾患の治療	
永井 純正……………	425
〈産婦人科領域における再生医療とゲノム編集〉	
ゲノム編集と生殖工学への応用	
宮田 治彦・伊川 正人……………	432
iPS細胞からの卵子・精子形成	
濱田 律雄・林 克彦……………	439
ヒト初期胚のゲノム編集と再生医療	
山田 満稔・田中 守……………	445
ES/iPS細胞からの絨毛分化	
小島淳哉・久慈 直昭・井坂 恵一……………	451
子宮幹細胞の臨床的意義	

小野政徳・丸山 哲夫・田中 守……………	459	難波 聡……………	620
子宮内膜の再生—子宮内膜不全への対応		骨粗鬆症	
升田 博隆・丸山 哲夫……………	464	能瀬さやか……………	626
ヒト受精卵におけるゲノム編集とその倫理的課題		〈さまざまなケースへの個別化対応〉	
山本圭一郎・伊吹 友秀……………	471	月経困難症	
●周産期メンタルヘルスケアの最前線—ハイリスク妊産婦管理加算を見据えた対応をめざして (6)		甲村 弘子……………	632
〈総論〉		月経前症候群 (PMS)・月経前気分不快障害 (PMDD)	
周産期とメンタルヘルス		武田 卓……………	640
岡野 禎治……………	500	月経周期を考慮したコンディション評価	
妊産婦死亡原因としての自殺とその予防—産後うつを含めて		中村真理子……………	646
竹田 省……………	506	若年女性スポーツ障害へのメンタルケア	
〈連携管理〉		山口 聖子……………	652
精神疾患合併妊娠のハイリスク管理加算に伴う医療連携		ドーピングへの不安	
鈴木 俊治……………	511	上東 悦子……………	657
周産期メンタルヘルスにおける多職種連携		栄養指導	
笠井 靖代……………	516	小清水孝子……………	663
〈病態別の管理〉		●「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2017」の新規項目と改正点 (8)	
不育症における supportive care		〈CQ004-1 (改訂)〉	
永松 健・長坂 貴顕・藤井 知行……………	523	妊娠中の静脈血栓塞栓症 (VTE) の予防は？	
胎児異常・胎児新生児死亡を経験した妊産婦へのケア		永松 健……………	700
杉林 里佳・左合 治彦……………	528	〈CQ004-2 (改訂)〉	
精神疾患をもつ人の妊娠・出産・育児を支える		分娩後の静脈血栓塞栓症 (VTE) の予防は？	
熊倉 陽介……………	535	永松 健……………	705
子ども虐待が疑われる妊産婦への対応		〈CQ004-3 (新規)〉	
川口 晴菜・光田 信明……………	541	妊娠・産褥期に深部静脈血栓塞栓症 (DVT) や肺血栓塞栓症 (PTE) の発症を疑ったら？	
性暴力被害が疑われる症例への対応		森川 守……………	709
中島 聡美……………	546	〈CQ005-2 (改訂)〉	
若年者に対する性虐待への対応		妊娠糖尿病 (GDM)、妊娠中の明らかな糖尿病、ならびに糖尿病 (DM) 合併妊婦の管理・分娩は？	
高橋 幸子……………	553	成瀬 勝彦……………	716
〈薬物療法〉		〈CQ008-2 (改訂)〉	
周産期メンタルヘルスの薬物療法: 10 の原則		Rh (D) 陰性妊婦の取り扱い？	
鈴木 利人……………	558	新垣 達也・関沢 明彦……………	721
向精神薬と授乳		〈CQ309-1 (新規)〉	
肥沼 幸……………	566	妊婦健診で高血圧や蛋白尿を認めたら？	
●若年女性のスポーツ障害へのトータルヘルスケア—こんなときどうする？ (7)		森川 守……………	726
若年女性のスポーツ障害の現状		〈CQ309-4 (新規)〉	
久保田俊郎……………	600	分娩時の血圧管理は？	
〈スポーツ障害を科学する〉		大野 泰正……………	731
月経周期とパフォーマンスにおける基礎研究		〈CQ406-2 (新規)〉	
町田 修一・大野佳南子……………	606	子宮底圧迫法 (クリステレル胎児圧出法) 施行時の注意点は？	
〈三主徴の原因と対応〉		牧野 康男・金城 淑乃・牧野 郁子……………	738
利用可能エネルギー不足		〈CQ416 (新規)〉	
須永美歌子……………	614	選択的帝王切開時に注意することは？	
無月経		田中 利隆……………	744

〈CQ504 (改訂)〉	温泉川真由…………… 913
妊娠中に発見された付属器腫瘍の取り扱いは？	抗がん剤投与の中止・延期・減量基準
小谷 友美…………… 749	境 秀樹・松本 光史…………… 920
〈CQ603 (改訂)〉	〈卵巣がん〉
正常産新生児の早発型 B 群溶血性レンサ球菌 (GBS)	PARP 阻害薬の現況と展望
感染症を予防するためには？	関根 正幸・榎本 隆之…………… 924
鈴木 俊治…………… 753	卵巣がんにおける免疫療法 (抗 PD-1 抗体療法) の可能性
〈CQ606 (改訂)〉	安彦 郁・濱西 潤三・万代 昌紀…………… 935
妊娠中に HBs 抗原陽性が判明した場合は？	卵巣胚細胞腫瘍に対する化学療法と注意点
飯塚 美徳…………… 757	鈴木 史朗・梶山 広明…………… 941
〈CQ412-1 (改訂)/412-2 (新規)〉	〈子宮頸がん〉
分娩誘発の方法とその注意点は？/分娩誘発を目的とした頸管熟化・拡張法の注意点は？	子宮頸がん治療に対する最新化学療法—ベパシズマブの位置づけとその副作用対策
板倉 敦夫…………… 761	馬淵 誠士・甲村奈緒子・松本 有里…………… 948
●着床不全・流産をいかに防ぐか—PGS 時代の不妊・不育症診療ストラテジー (9)	子宮頸がん術後の補助化学療法は放射線治療と比較してどうか
〈胚側因子による流産〉	的田 真紀・谷川 輝美・竹島 信宏…………… 960
生化学的妊娠と不育症—不育の定義との関連	〈子宮体がん〉
中塚 幹也…………… 800	子宮体がんに対する初回補助化学療法—何が最適か？
受精卵染色体異常の成因と加齢の影響	野村 弘行・岩佐 尚美・早乙女啓子
中岡 義晴…………… 806	青木 大輔…………… 968
染色体転座による不育症と重篤度予測	再発子宮体がんに対する化学療法
池田 敏郎・尾崎 守…………… 815	竹内 聡…………… 976
流産染色体検査—孤発流産と習慣流産の違い	子宮肉腫に対する化学療法
小澤 伸晃・三井 真理…………… 822	高野 忠夫…………… 992
〈母体・子宮側因子による流産・不育症〉	●遺伝子診療の最前線—着床前、胎児から婦人科がんまで (11)
抗リン脂質抗体症候群	〈婦人科腫瘍〉
高桑 好一・吉田 邦彦・能 伸太郎…………… 828	遺伝性乳がん卵巣がん (HBOC) 診療の最前線—①
血液凝固異常症—第Ⅻ因子・プロテイン S 欠乏症を含めて	HBOC の基礎知識
藤田 太輔・寺井 義人・大道 正英…………… 836	西野 幸治・関根 正幸・榎本 隆之…………… 1024
子宮形態異常	遺伝性乳がん卵巣がん (HBOC) 診療の最前線—②
杉浦 真弓…………… 846	HBOC 診療での遺伝カウンセリング
子宮内膜異常と黄体機能不全症	吉田 玲子・新井 正美…………… 1031
丸山 哲夫…………… 853	卵巣がんのゲノム解析と分子標的治療
高プロラクチン血症と流産	織田 克利…………… 1038
山下 聡子・河野 康志・楢原 久司…………… 859	〈生殖医療〉
甲状腺機能異常	着床前遺伝子診断 (PGD) の世界の現状
和泉俊一郎・高橋 千果・篠田 真理…………… 865	佐藤 卓・佐藤 健二・末岡 浩…………… 1044
不妊・不育診療戦略における PGT-A	着床前胚スクリーニング (PGS) の世界の動向
桑原 章…………… 872	吉田 淳…………… 1052
●最新！婦人科がん薬物療法—化学療法薬から分子標的薬・免疫療法薬まで (10)	生殖医療で求められる遺伝カウンセリング
〈最新の副作用対策〉	田村智英子…………… 1060
婦人科悪性腫瘍化学療法時の制吐剤使用	〈周産期医療〉
此松 晶子・勝俣 範之…………… 908	胎児期の環境とエピゲノムの変容
発熱性好中球減少症に対する G-CSF と抗菌薬の適正使用	伊東 宏晃…………… 1066
	NIPT の世界の動向と問題点

和泉美希子・関沢 明彦	1073
胎児構造異常におけるゲノム解析の最前線	
井本 逸勢	1079
周産期医療における遺伝カウンセリングの要点	
西山 深雪	1084
●あなたと患者を守る！ 産婦人科診療に必要な法律・訴訟の知識 (12)	
〈母体保護法運用の留意点〉	
人工妊娠中絶（施行要件・同意取得）	
白須 和裕	1124
不妊手術・減数手術	
落合 和彦	1132
〈産科訴訟の周辺—産科医療補償制度とガイドライン〉	
医療事故調査制度・産科医療補償制度における産婦人科領域の訴訟—産婦人科診療ガイドラインの意義	
石渡 勇	1137
一次医療施設からみた産科ガイドライン・産科医療補償制度	
前田津紀夫	1144
〈生殖医療にかかわる法的問題〉	
配偶子や胚の凍結保存に関連して生じる法律上の問題—法律的な考え方と「会告」の問題点	
宗像 雄	1150
配偶子提供（性同一性障害を含む）	
水澤 友利・久慈 直昭	1157
代理懐胎	
久具 宏司	1165
〈おさえておきたい法律・訴訟の基礎知識〉	
民事訴訟の流れ—調査、証拠保全、提訴、争点整理、尋問、鑑定（カンファレンス鑑定など）、控訴	
松井 菜採	1174
医療事故と診療記録—関係する法的問題を中心として	
前田 正一	1179
薬剤の規定外使用と法—産婦人科領域での使用例を含めて	
加藤 愼・水上 裕嗣	1186
医療における刑事訴追	
後藤 貞人	1194

原著

卵巣成熟囊胞性奇形腫の再発に関する検討	
森岡佐知子・棚瀬 康仁・岩井 加奈	
新納恵美子・山田 有紀・小池 奈月	
川口 龍二・小林 浩	685 (7)

症例

腹膜偽嚢胞内に出血し巨大腫瘤を形成した若年卵巣出血に対して腹腔鏡下手術を施行した1例	
--	--

白國あかり・武内 享介・吉田 愛	
武田 晃子・澤田茉莉子・杉本 誠	
進藤 千尋	169 (1)
経陰分娩後の癒着胎盤にメトトレキサート療法を施行し子宮を温存しえた1例	
斉藤 慶弘・小原 美幸・横井由里子	
塩沢 功	387 (3)
脳転移をきたした granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) 産生子宮頸癌の1例	
小野 元紀・宮下 昭太・山本さやか	
高木 緑・戸田 文香・中村 智次	
高木 靖	485 (5)
腸管子宮内膜症による腸閉塞を発症した一卵性双胎姉妹の1例	
新井 未央・木村 博昭・片山 恵里	
藤田 久子・糸井 瑞恵・神下 優	
神山 正明・井上 泰・平敷好一郎	
	579 (6)
帝王切開癒着部に妊娠した侵入奇胎の術前診断で全腹腔鏡下子宮全摘出術を施行した1例	
生駒 洋平・溝上 友美・坪倉 弘晃	
佛原 悠介・村田 紘未・吉村 智雄	
生田 明子・北 正人・神崎 秀陽	
岡田 英孝	585 (6)
外陰部腫瘤を契機に発見されたNuck管の子宮内膜症の1例	
竹井裕美子・三宅 麻子・黄 彩実	
船内 雅史・室谷 毅・山部 エリ	
細見 麻衣・土田 充・濱田 真一	
峯川 亮子・山崎 正人・村田 雄二	
今川 敦夫・米田玄一郎	781 (8)
稀な遺伝子型を呈し腹腔鏡下洗浄ドレナージが有用であったA群β溶連菌感染症の1例	
岡田 麻美・深山 雅人・徳山 治	
中村 博昭・川村 直樹	887 (9)
子宮頸部原発と考えられた明細胞腺癌の1例	
成田 萌・大木 規義・近藤 直子	
宮地 真帆・水野祐紀子・安田 立子	
稲垣美恵子・村越 誉・岡田 十三	
吉田 茂樹・吉安可奈子・八十嶋 仁	
名方 保夫	893 (9)

臨床経験

臨床経験産後2週間ごろの母親の悩み等に関する検討—周産期メンタルヘルスの視点から	
鈴木 俊治	1107 (11)

産婦人科領域における再生医学・再生医療の現状	
丸山 哲夫……………	268 (2)
知っておきたい診療報酬制度と保険収載への道程	
西井 修……………	674 (7)
卵子凍結の社会的適応	
菊地 盤・香川 則子・野島美知夫	
吉田 幸洋……………	766 (8)
緊急帝王切開の30分ルールを達成するためのポイント	
大門 篤史・藤田 太輔・寺井 義人	
大道 正英……………	1093 (11)

教訓的症例から学ぶ

産婦人科診療のピットフォール

分娩後に診断された子宮頸癌合併妊娠の1例	
間崎 和夫・武井 成夫……………	160 (1)
閉経後出血の原因が不明とされたホルモン産生卵巣腫瘍の1例	
高木 靖……………	274 (2)
腹水細胞診疑陽性で診断的腹腔鏡下手術を行った結果、卵巣境界悪性腫瘍の自然破綻と判明した症例	
佐治 晴哉・権藤 俊一……………	376 (3)
開腹術に伴って大腿神経障害を発症した症例	
終 一哉・遠藤 方哉……………	476 (5)
帝王切開術後に診断された周産期心筋症の1例	
片山 素子・三浦裕美子・平尾 薫丸……………	574 (6)
子宮肉腫と術前診断したが、MRIでは類内膜腺癌を考えるべきであった1例	
小林 梓・伊藤 郁朗……………	668 (7)
腹腔鏡下手術時の虫垂損傷に気づかなかった1例	
東 正樹・櫻井 愛美……………	772 (8)
妊娠中の軽度リンパ節腫脹が初発症状であった悪性リンパ腫の1症例	
柿坂はるか・笠原 祥子・上原 茂樹……………	879 (9)
術中尿管損傷を修復しえた腹腔鏡下子宮全摘出術の1例	
鈴木 博志……………	1002 (10)
経陰分娩後にDIC型後産期出血および子宮動脈の破綻をきたした症例—産科危機的出血の原因、IVR	

の適応について

山田 恭子・藤本 俊郎……………	1098 (11)
子宮頸がんに対する初回CCRT後にバゾプレシン分泌過剰症を発症した1例	
坂本 優香・三輪 照美・中村 康彦……………	1200 (12)

Obstetric News (武久 徹)

前回帝王切後の試験分娩禁忌……………	166 (1)
帝王切開後の経陰試験分娩中の子宮破裂……………	280 (2)
妊娠39週での誘発分娩は待機的管理よりも母児に利点があるか?—米国産婦人科学会年次臨床大会2016でのdebate ① Dr. Norwitz の意見……………	382 (3)
妊娠39週での誘発分娩は待機的管理よりも母児に利点があるか?—② Dr. Lockwood の意見……………	482 (5)
誘発分娩不成功回避……………	571 (6)
妊娠中のうつ病……………	682 (7)
産後うつ病……………	778 (8)
緊急避妊2017年……………	1010 (10)
子宮頸管長全例スクリーニングの効果と問題点 (1)……………	1104 (11)
子宮頸管長全例スクリーニングの効果と問題点 (2)—最近出て来た疑問点……………	1208 (12)

Estrogen series (矢沢珪二郎)

高年男性に対するテストステロン療法……………	165 (1)
hot flashes……………	273 (2)
エストロゲンの作用物質と拮抗物質……………	386 (3)
鉄剤と甲状腺ホルモン……………	481 (5)
成人ニキビに対する治療法の比較検討—その安全性と効果について……………	681 (7)
早発閉経: primary ovarian insufficiency (1)……………	777 (8)
早発閉経: primary ovarian insufficiency (2)……………	885 (9)
精管結紮術……………	1103 (11)
栄養2題—ハワイにおける糖質と蛋白質摂取の現状について……………	1210 (12)